

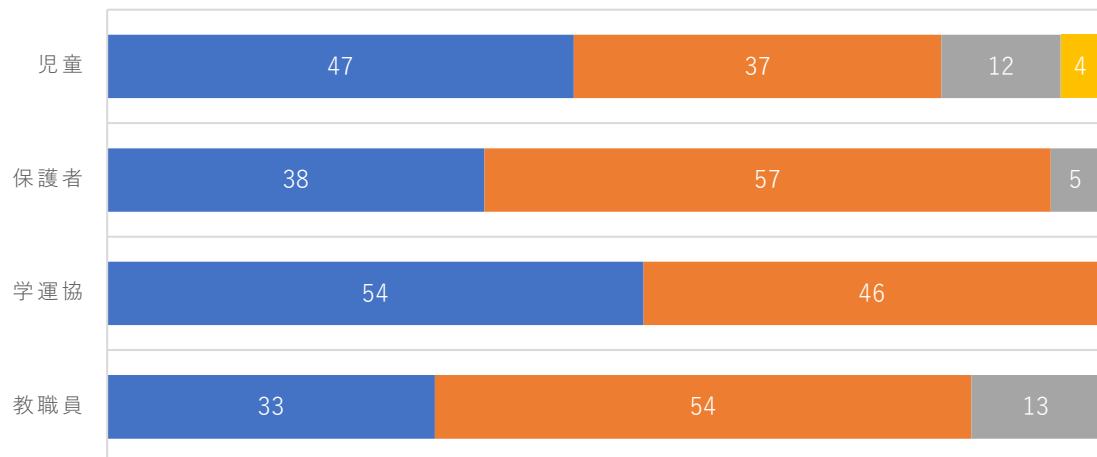
令和8年度 第1回振り返りアンケート（7月実施）結果

（回答率：児童 98%、保護者 95%、学校運営協議会（地域委員）100%、教職員 100%）

特に追記のない質問の主語は、「児童」、※は、小中共通。

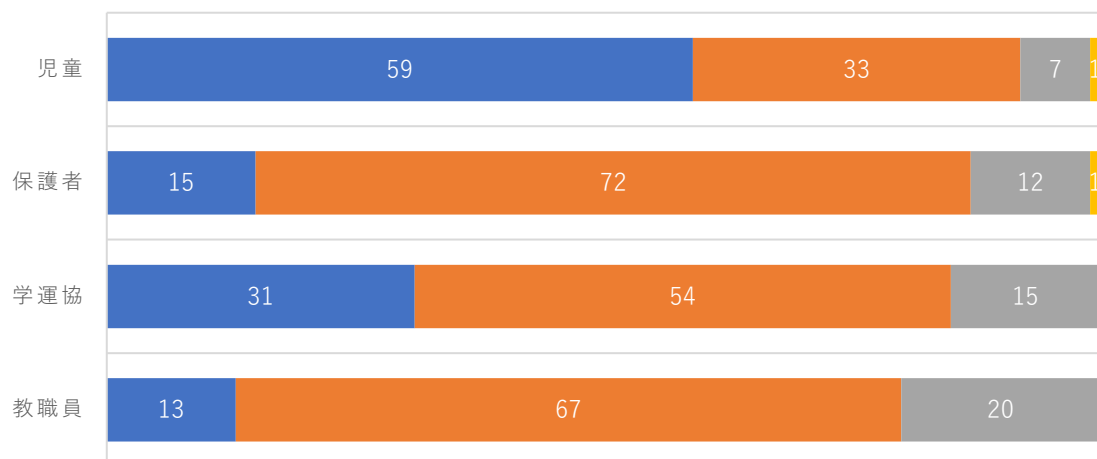
1 一生懸命に学習している

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



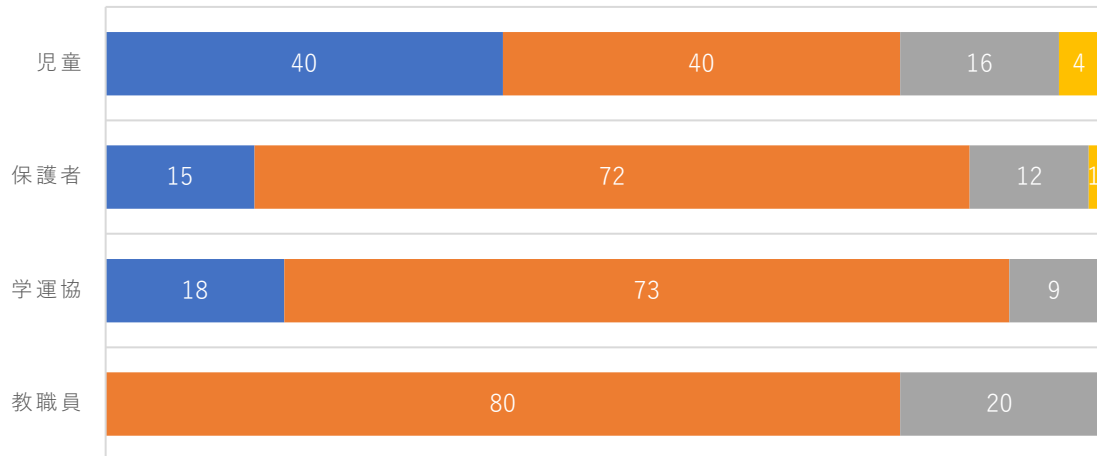
※ 2 あいさつをしている

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



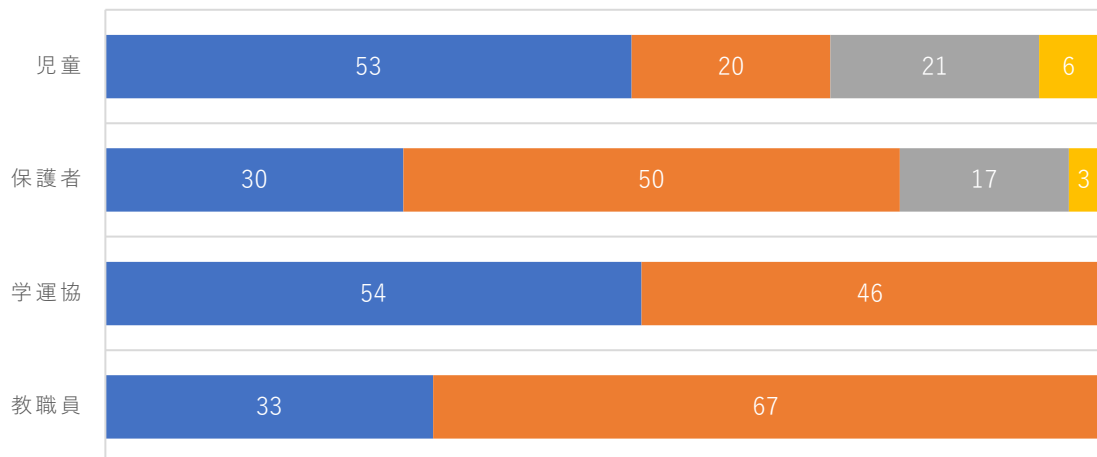
3 ほかほか言葉で話している

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



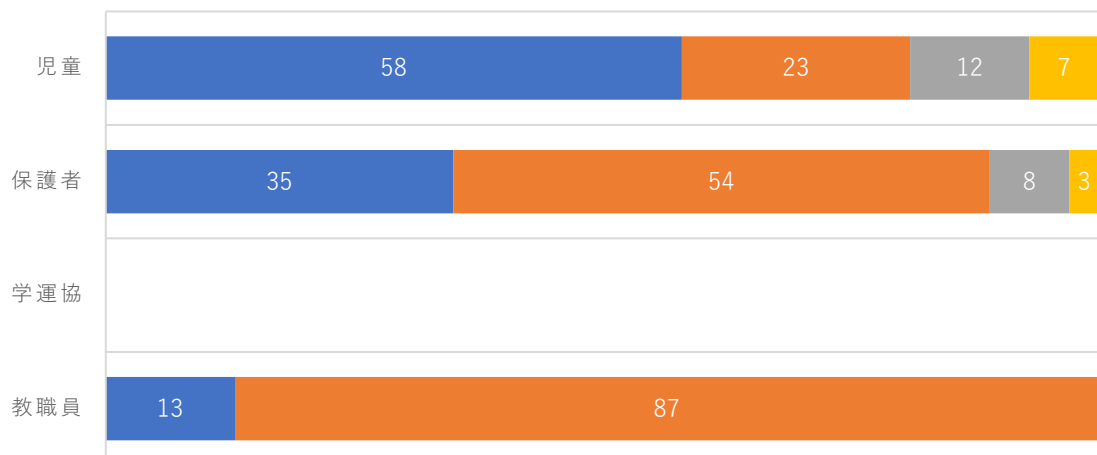
4 外で遊んだり運動したりしている

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



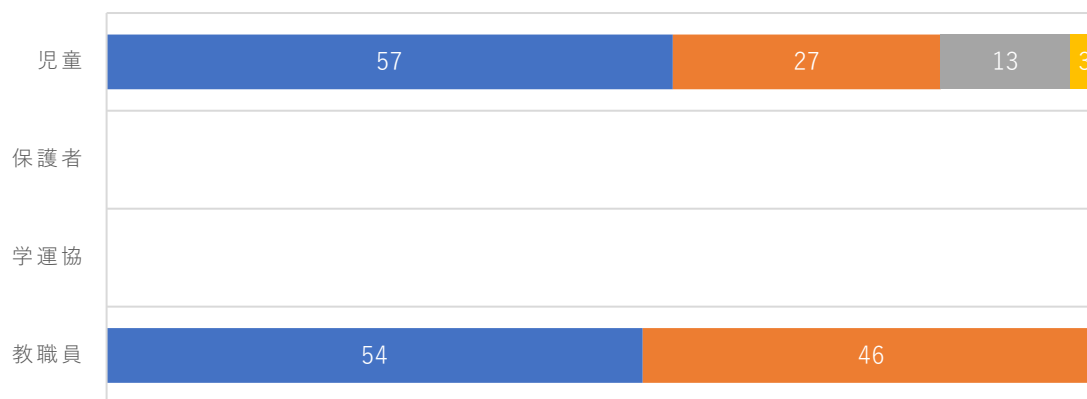
5 学校が楽しい（楽しく通っている）

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



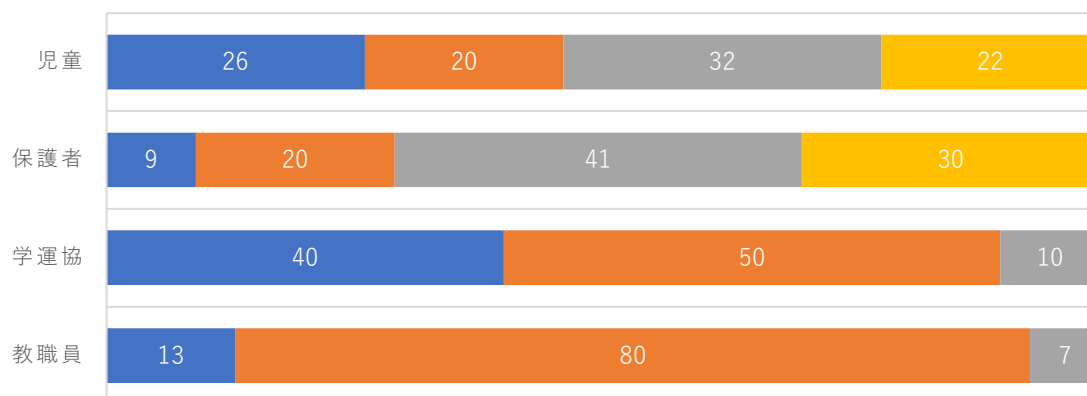
6 宿題に忘れずに取り組んでいる (教：取り組み方を指導している)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



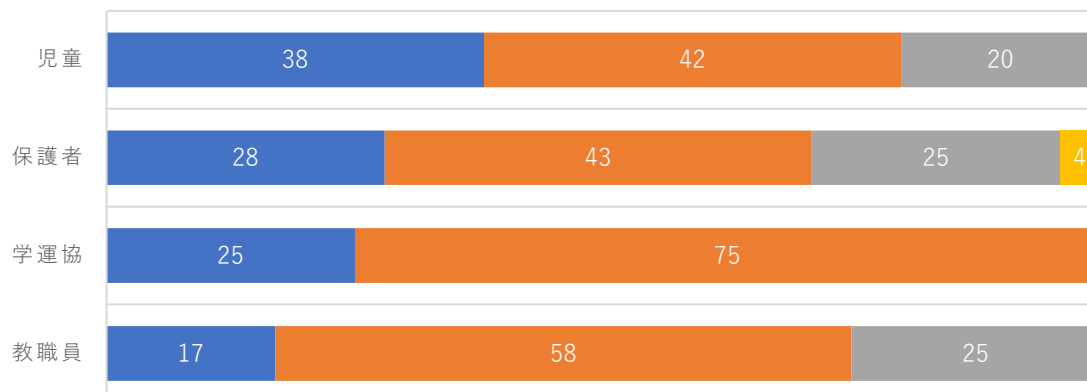
7 家で本を読んでいる (学・教：読書習慣の形成に取り組んでいる)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



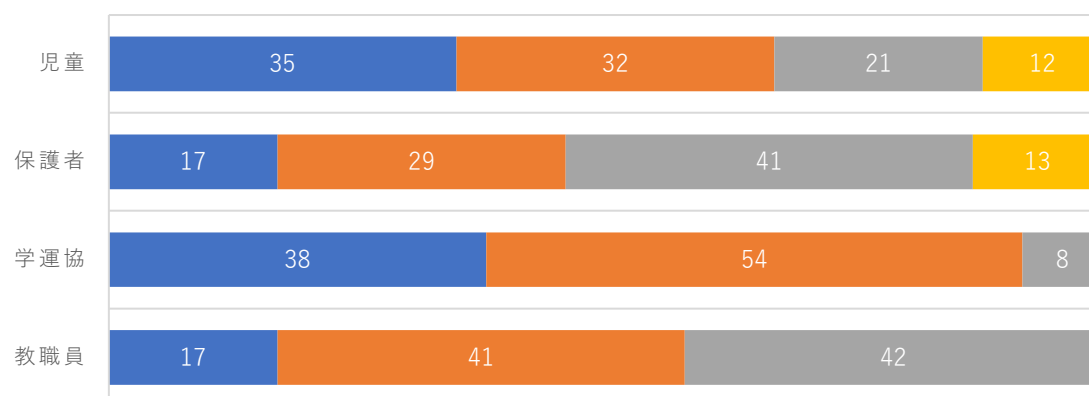
8 早寝・早起き・朝ご飯が守れている (学：学校は指導している)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



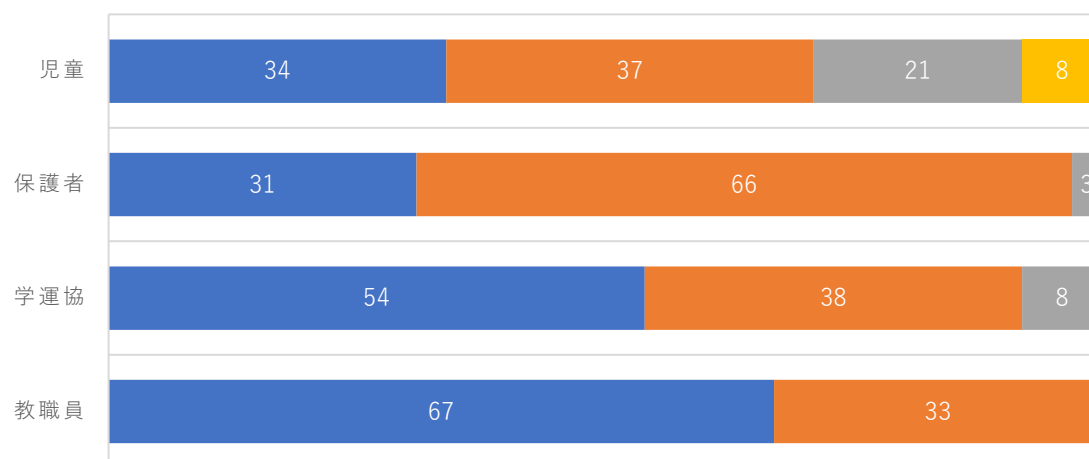
※ 9 メディアの時間や約束を守っている (学：学校は指導している)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



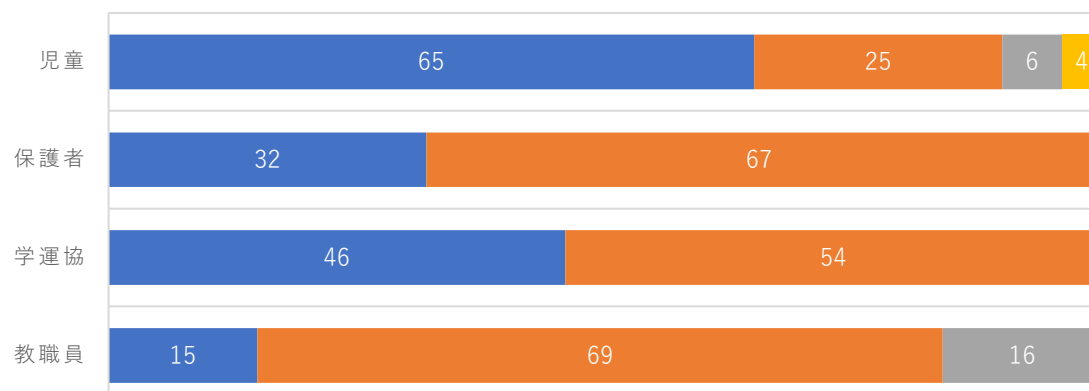
10 学校は地域と教育活動をしている

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



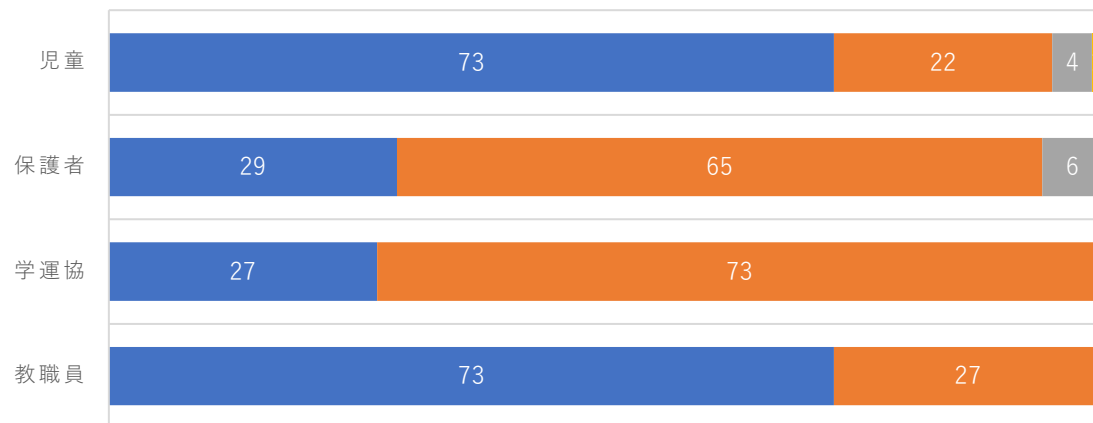
11 授業が分かりやすい (教：分かりやすい授業をしている)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



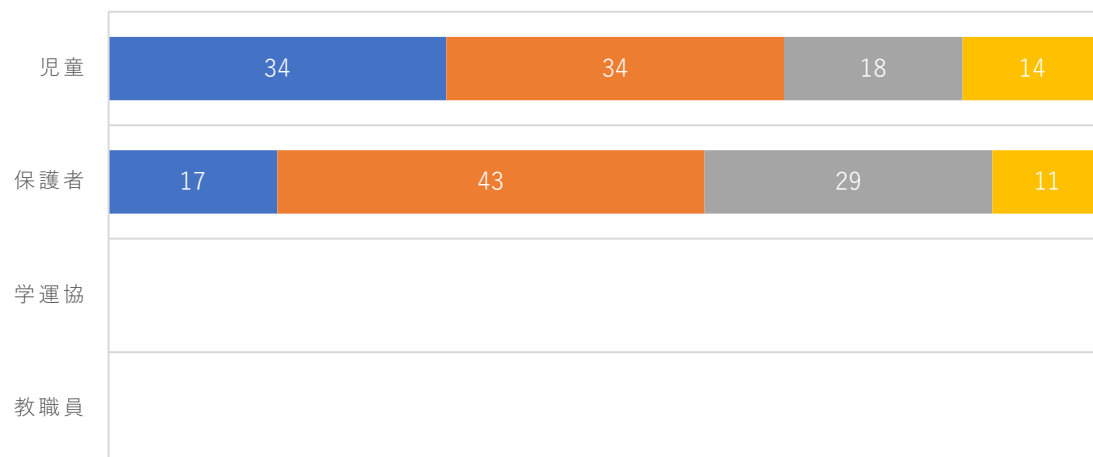
12 友だちと仲良くしている (保・学・教：学校はいじめの未然防止等に努めている)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



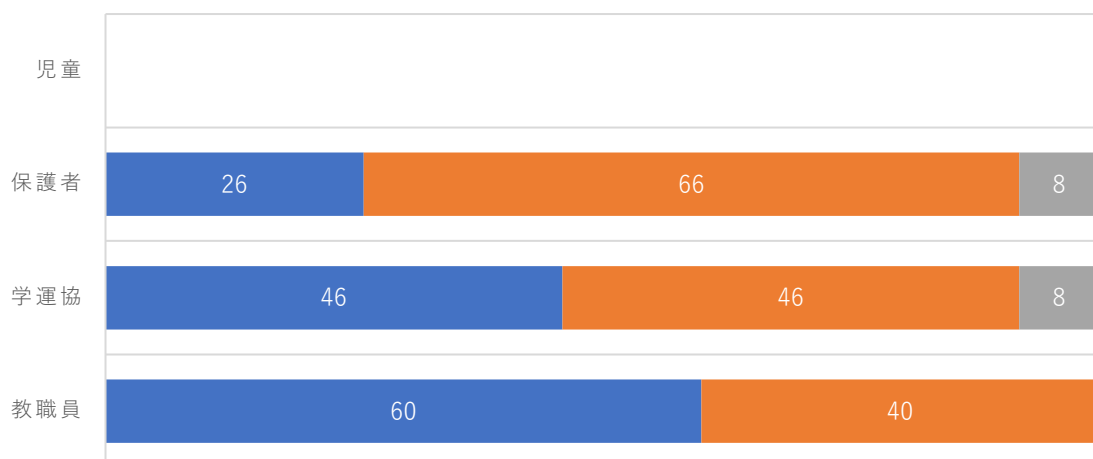
※ 13 地域の行事や活動に参加している

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



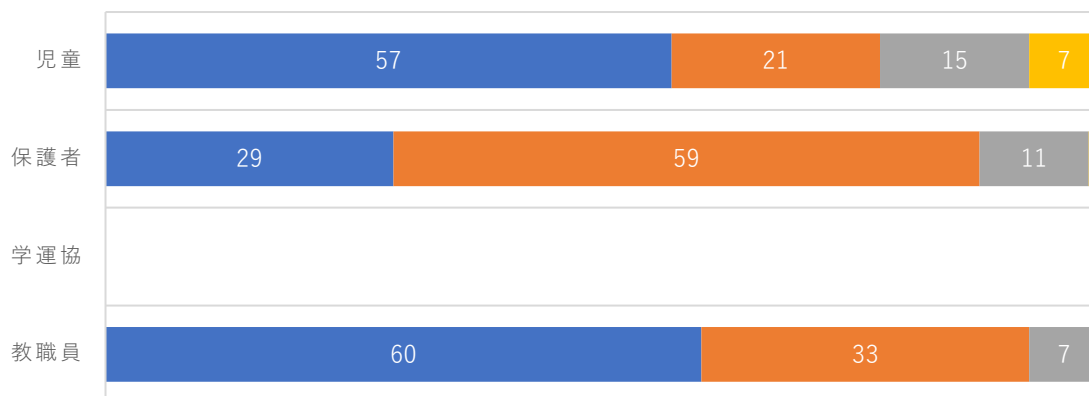
14 学校は情報発信を積極的に行っている

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



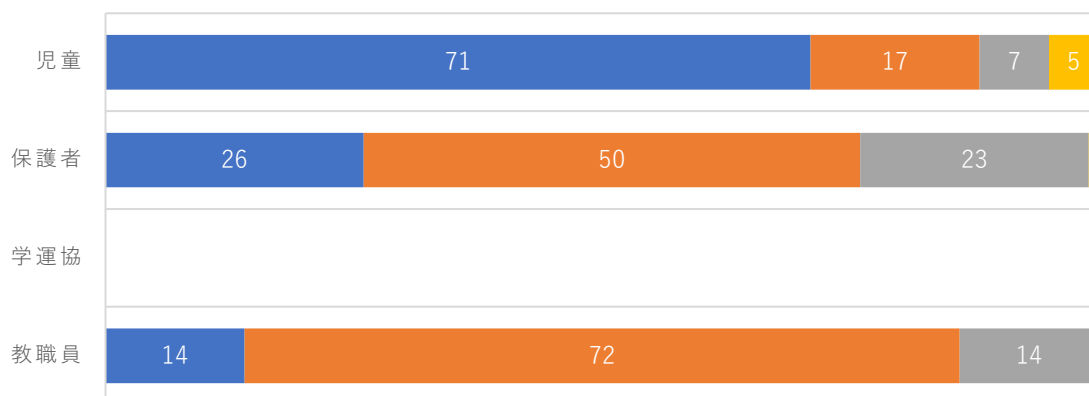
15 よいところがある (教：認め、伝えている)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



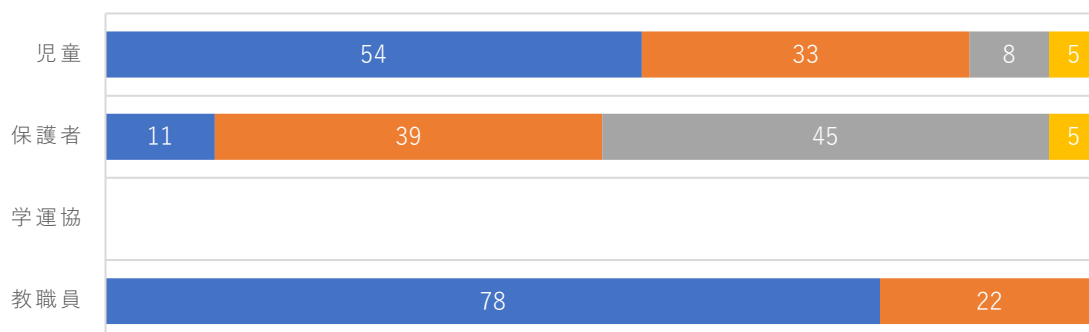
16 将来の夢や希望がある (教：考える機会をつくっている)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



17 地域のために何かをしたい (教：地域の思いを聞く機会を設定したり できることを考えさせたりしている)

■ そう ■ だいたい ■ あまり ■ まったく



【考察】

1 学校経営の重点取組事項とのかかわり（肯定的回答割合。単位：％）

（１）学力向上 主体的に学ぶ態度と表現力の育成・学力向上

○おおむね達成

- ・学習への取組：児 8 4、保 9 5、学 1 0 0、教 8 7 → 平均 9 2
- ・授業の分かりやすさ：児 9 0、保 9 9、学 1 0 0、教 8 4 → 平均 9 3
- ・家庭学習への取組：児 8 4、教（指導） 1 0 0

△今後の課題

- ・家庭読書：児 4 6、保 2 9 → 平均 3 8

※教（習慣形成に取り組んでいる） 9 3 に対して、昨年度よりやや改善が見られるものの低い数字にとどまっている。学校での指導・家庭での働きかけにおける工夫が引き続き必要。

（２）心の教育 豊かな心の育成、居心地のよい学校・学級づくり

○おおむね達成

- ・あいさつ：児 9 2、保 8 7、学 8 5、教 8 0 → 平均 8 6
- ・ほかほか言葉：児 8 0、保 8 7、学 9 1、教 8 0 → 平均 8 5
- ・友だちと仲よく：児 9 5
- ・学校が楽しい：児 8 1、保 8 9、教 1 0 0 → 平均 9 0

（３）生活改善 望ましい生活リズム・メディアとの適切なかかわり・運動習慣の定着と体力向上

△今後の課題

- ・外遊び・運動：児 7 3、保 8 0、学 1 0 0、教 1 0 0 → 平均 8 8
- ・望ましい生活リズム：児 8 0、保 7 1、教 7 5 → 平均 7 5
- ・メディア時間・約束：児 6 7、保 4 6、教 5 8 → 平均 5 7

※外遊び・運動は、児童の肯定的評価が低いため、暑さ・寒さに配慮しつつ児童主体の取組等を行うとよいと考える。

※学力の定着や落ち着いた学校生活・対人関係の確立の基盤にもなる望ましい生活リズムの確立は、昨年度より改善傾向である。引き続き家庭と学校とで継続して取り組む必要がある。

※メディアとの適切なかかわりは、昨年度より肯定的評価が 1 0 % 低下している。家庭と連携してより効果的な取組を考えることが必要である。